

単元名：割合のグラフ（小学校第5学年 算数）



ICT活用のねらい

- ・身の回りの事象から課題を見出し、統計的な手法を用いて課題解決をしていきます。
- ・これまでに学習した表やグラフについてその特徴やよさについて振り返り、表計算ソフトを活用して表やグラフにまとめる活動に取り組みます。

学習の流れ 6時間（本時5 / 6）

本時の目標

収集したデータから適切なグラフに表し、資料について分析する。

導入	展開	まとめ
<p>①既習の表やグラフについて振り返る。</p> <p>活用ポイント 【表示機能】</p> <p>②本時のめあてをつかむ。</p> <p><めあて> 集めたデータを表やグラフにわかりやすくまとめよう。</p>	<p>③資料の作成方法を知る。</p> <p>活用ポイント 【表示機能】</p> <p>④収集したデータを表やグラフに表す。</p> <p>活用ポイント 【表計算ソフト】</p> <p>⑤作成した資料からわかることを考える。</p> <p>活用ポイント 【表計算ソフト】</p>	<p>⑥本時の学習をまとめる。</p> <p><まとめ> 伝えたいことに合わせて、表やグラフの整理の仕方を工夫することでわかりやすくまとめることができる。</p> <p>⑦本時の学習を振り返る。</p>

詳細はICT活用教育「プロジェクトE」サイトをご覧ください
<https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/list01913.html>



表計算ソフトを用いて表を作成する方法をおさえる。

【表計算ソフト】 【表示機能】

<めあて>

集めたデータを表やグラフにわかりやすくまとめよう。

表計算ソフトでは
÷は「/」、×は「*」 と入力！

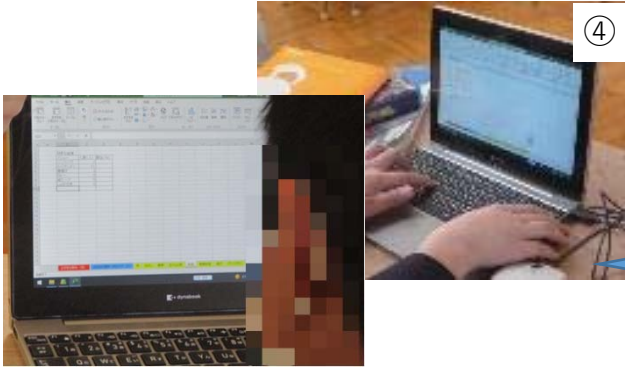


③

収集したデータを活用して表を作成し、グラフに表す。

【表計算ソフト】

記号や半角、全角の入力が難しいですが、みんな上手に入力しています！



④

グラフの作成後、グラフから読み取れることを考察しノートに記入する。

【表計算ソフト】

円グラフをすぐに表示できるので考察までがスムーズです。

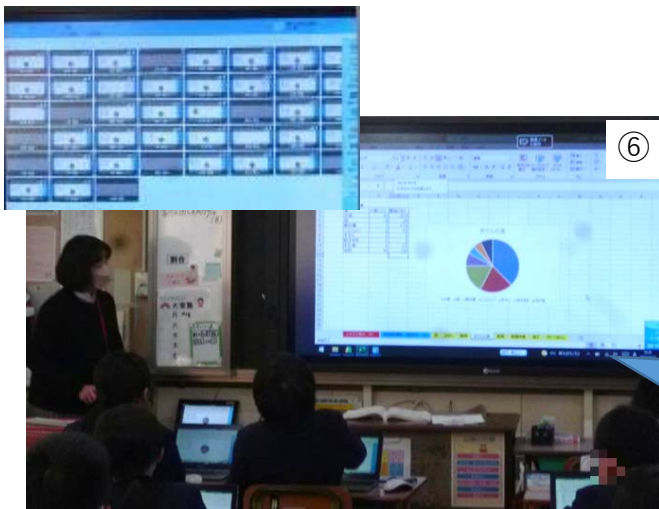


⑤

グラフはわかりやすく表せているか、正しく考察できているかを話し合い、本時の学習をまとめる。

【共有機能】

(スカイメニュー)



⑥

グループで考えた意見を電子黒板に写し全体で話し合います。

みやき町立北茂安小学校に勤務のスーパーティーチャー大家淳子教諭の実践です。クラスでアンケートをとり、好きな教科や給食のメニューなど子供たちが興味を持った事柄について表計算ソフトを使って表にまとめ、円グラフに表していました。表計算ソフトを初めて扱う子供がほとんどでしたが、入力の仕方に戸惑う場面においても先生に質問したり友達と教え合ったりすることで、数式を入力しグラフに表すところまで全員ができていました。1人1台端末で簡単に円グラフができることに驚き、意欲的に活動する子供達の姿が印象的です。それぞれの考えを紹介し合うことで、グラフに表すことの良さに気付くことのできる授業でした。